

高齢者インフルエンザ予防接種の実施について

町では、今年も高齢者を対象としたインフルエンザの予防接種を行います。接種を希望する方は、「インフルエンザ予防接種についての説明書」をよくお読みになったうえ、指定医療機関で接種してください。

1. 接種対象者

皆野町に住所があり、次に該当する方で接種を希望される方

＊接種当日の年齢が65歳以上である方

＊接種当日の年齢が60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能又はHIVウイルスによる免疫機能に障害があり、その障害の程度が身体障害者手帳1級程度に相当する方（医師の診断書または身体障害者手帳の写しが必要です。）

2. 接種期間・接種回数

令和7年10月1日(水)～令和8年1月31日(土)・1回

3. 接種費用

自己負担額 1,200円（助成額 3,070円）

※65歳以上で生活保護世帯の方及び中国残留邦人等支援受給の方は自己負担がありませんので、医療機関窓口で受給証又は本人確認証を必ず提示してください。

4. 持参品

資格確認書等(住所・年齢の確認できるもの)

※予診票は各医療機関においてあります。

※秩父地域外で接種希望の方は、下記担当へお問い合わせください。

5. 申込方法

接種を希望される方は、裏面の指定医療機関へお申込みください。

6. 問い合わせ先

皆野町健康こども課健康づくり担当 ☎62-1288

令和7年度皆野町インフルエンザ予防接種指定医療機関一覧

	医療機関名	電話番号		医療機関名	電話番号
皆野町	皆野病院	62-6300	秩父市	たかはし整形外科皮膚科クリニック	53-8777
	金子医院	62-0039		高橋内科クリニック	27-0155
	清水病院	62-0067		竹越医院	22-0701
	松本医院	65-0004		たつみ形成皮膚科クリニック	53-8007
	みなもの整形外科医院	63-1616		秩父病院	22-3022
	みなものハートクリニック	62-7878		秩父市大滝国保診療所	55-0341
秩父市	あいおいクリニック	26-7001		秩父市立病院	23-0611
	浅海医院	54-1182		秩父生協病院	23-1300
	あさひ診療所	21-5001		秩父第一病院	25-0311
	新井医院	77-0006		秩父脳外科内科クリニック	21-2330
	あらいクリニック	25-2711		堤医院	24-0588
	石塚内科胃腸科医院	24-5010		つむぎ診療所	24-5551
	石塚クリニック	22-6122		野田医院	22-2538
	井上医院	22-0141		蓮沼医院	21-5526
	井上皮膚科医院	22-0336		松本クリニック	22-3000
	岩田産婦人科医院	24-1336		丸山耳鼻咽喉科医院	25-3341
	内田医院	21-1500		三上医院（中町）	22-0391
	大谷津医院	22-6329		三上医院（荒川）	54-1007
	岡部医院	25-2511	水野医院	22-3315	
	影森クリニック	26-5548	本強矢整形外科病院	24-7615	
	片山耳鼻咽喉科	23-3341	山田クリニック	21-7388	
	加藤クリニック	24-3229	横瀬町	荒船医院	24-0160
	金子クリニック	21-7270		松田医院	22-0802
	眼科・並木医院	22-1668		ヨコゼ診療所	23-3311
	久喜医院	23-6161	長瀬町	倉林医院	66-0387
	倉林外科胃腸科医院	23-0968		長瀬医新クリニック	66-1000
	クリニック公園ばし	53-8860		南須原医院	66-2038
	健生堂医院	22-0270	小鹿野町	国保町立小鹿野中央病院	75-2332
	五野上医院	22-1587		鈴木内科眼科クリニック	72-7072
	近藤医院	22-0043		堤医院	79-0501
	酒井耳鼻咽喉科医院	25-4187		原医院	72-8088
	城谷医院	22-1010		本間医院	75-0020
関根医院	23-0777	横田内科・呼吸器科クリニック		72-7447	

インフルエンザ予防接種についての説明書

1. インフルエンザとは

インフルエンザウィルスの感染によって起こります。ふつうの風邪と異なり、突然の高熱・頭痛・関節痛などの全身症状が強く、肺炎などを合併すると重症化しやすい特徴があります。

一般的な予防法としては、人混みを避ける、十分な栄養・休養をとる、適度な湿度を保つ、外出時のマスクの着用、帰宅時のうがい・手洗いの励行などです。

また、流行前に予防接種を受けることも予防のひとつです。

2. インフルエンザ予防接種の免疫効果

予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。通常インフルエンザの流行は12月から3月が中心です。流行が予想される時期とワクチンの有効期間が一致するように予防接種を受けましょう。より有効性を高めるためには、10月から12月までの間に行うことが適当です。

3. インフルエンザ予防接種の副反応

注射の跡が、赤みを帯びたり、はれたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。まれに発熱、寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、接種後2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害の症状が現れる等の報告があります。

非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などが現れることがあります。

4. 予防接種を受ける前に

インフルエンザの予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師や町の保健師に相談しましょう。鶏肉、卵、その他鶏由来のものに対して、アレルギーがある方は、かかりつけ医師とよく相談してください。

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける方が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

また、感染拡大防止のため、受診前に必ず体温測定を行い、発熱がある時は、接種を控えてください。その他、咳・鼻水などの自覚症状がある場合も、接種を控えましょう。受診時は、マスク・人との間隔の保持など感染予防の対策を心掛けましょう。

5. 新型コロナウイルスワクチン接種との間隔について

新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種については、特に医師が認めた場合に可能です。

6. 予防接種を受けた後の注意

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② インフルエンザワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調の変化に注意しましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

7. その他

予防接種後まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に、ほかの病気がたまたま重なり現れることがあります。

予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れる、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら、医師（医療機関）の診察を受けてください。